

令和7年度 第3回新潟県農業農村整備事業環境情報協議会

次 第

令和8年2月4日（水）  
13：30～16：15  
新潟県自治会館 201 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 令和7年度事後調査対象地区の結果報告について
  - 1) 経営体育成基盤整備事業 中ノ通地区（阿賀野市）
  - 2) 中山間地域総合整備事業 霧出地区（関川村）
- (2) 令和8年度事後調査対象地区の地区選定について

4 新潟大学調査報告

5 閉 会

# 【資料1】

経営体育成基盤整備事業

中ノ通地区

事後調査結果資料



## 【環境配慮地区概要表】(令和7年度事業完了後調査)(1/2)

地区番号: 1

1 基本情報			
事業名:	経営体育成基盤整備事業	受益面積:	21.0 ha
地区名:	中ノ通	総事業費:	400,000千円
所在地:	新潟県阿賀野市	施工年度:	平成29年 ~ 令和6年
2 主な工事内容等			
	工 種	事 業 量	工 種
	農業生産基盤整備		
	区画整理	A=21.0ha	暗渠排水
			A=20.8ha
3 農村環境計画・田園環境整備マスタープランにおける本地区の位置付け			
位置付け:	定住環境創造エリア、農業生産団地ゾーンの(阿賀野市農村環境計画)		
4 目指す地域環境の姿			
環境配慮テーマ:	福島潟との一体性を目指して		
地域の将来像:	農業生産性の向上と生物の生息・生育環境を確保する基盤整備を行うことを目的として、地域の自然や景観との調和に配慮した整備を目指す。		
地域の目標:	農業農村整備工事の際には、生態系へ配慮した整備や、周辺の田園景観や環境に配慮した整備を行うことを目標とする。		
5 事業実施前の生き物調査結果(調査内容と抽出された生物)			
調査日時:	平成28年5月22日 10:00 ~ 12:00		
天候・気温:	晴れ、気温20		
調査対象:	魚類、貝類、甲殻類、昆虫類等		
調査箇所:	地区内の用排水路		
調査実施者:	阿賀野川土地改良区		
調査方法:	タモ網による採捕調査		
調査結果:	魚類(タモロコ、ドジョウ、アブラハヤ、ギンブナ、モツゴ)、貝類(マルタニシ) 甲殻類(ヌカエビ、ザリガニ)、昆虫(タイコウチ)		
6 指標種と保全対策			
環境指標種:	魚類:ドジョウ		
(選定理由)	かつては日本各地の水田や水路に多く見られ、食用としても用いられた身近な魚類の一つであった。近年の農業形態の変化に伴い数を減らしている。		
環境指標種:	魚類:タモロコ		
(選定理由)	現在も比較的広い範囲で生息しているが、生息域である河川中下流域やその細流、水田脇の用水路の改修に伴い生息適地が減少しつつある。		
保全対策:	環境配慮型水路(魚巢柵)を設置する。		
(選定理由)	区画整理により用排水路がパイプライン化されることで、今まで用排水路や水田内を行き来していた移動経路が分断すると考えられる。そこで、排水が集まり、常時水位30cmが確保できる場所に環境配慮型水路(魚巢柵)を設置することで、水路内の動植物の生息・繁殖空間を確保し、福島潟と区画整理区域内との生息域のネットワーク化により、一体性を持たせる。【代償】 【修正】		
環境保全対象工種:	排水路		
ミティゲーション5原則:	代償		
保全対策:	遮光・遮音対策。		
(選定理由)	工事期間中の生息環境への影響を軽減するため、遮光・遮音対策や沈砂池等の影響軽減対策を講じる。		
7 経済性(工事費のうち、環境配慮に係る事業費)			
排水路:	工事費 181千円/6m(うち環境配慮に係る事業費	122千円/6m)	
8 維持管理体制とモニタリング体制			
維持管理体制:	農家組合を中心に集落、土地改良区で連携した維持管理。		
管理内容:	定期的に水路の泥上げや草刈りを実施し、いきものが生息しやすい環境を維持する。		
モニタリング体制:	農家組合、集落及び土地改良区が連携し、調査を実施。		
モニタリング内容:	区域内における生き物の生息状況の確認。		

上記内容は事業計画(当初)の概要である。変更があった場合は、朱書き訂正を行い下線を付けること。

## 【環境配慮地区概要表】(令和7年度事業完了後調査)(2/2)

地区番号: 1

<b>9 維持管理組織からの聞き取り結果</b>	
聞き取り年月日:	令和7年11月25日(火)
維持管理体制:	阿賀野川土地改良区、中ノ通集落(多面)による管理
環境配慮対策の管理状況:	用水通水前(4月)に江ざらいを実施。梅雨時期に泥が溜まっていないか確認。
その他気づいた点:	-
<b>10 モニタリング組織からの聞き取り結果</b>	
聞き取り年月日:	令和7年11月25日(火)
モニタリング体制:	阿賀野川土地改良区、中ノ通集落(多面)
モニタリング状況:	-
環境指標種の確認状況:	-
(その他生き物の生息状況)	-
<b>11 事業完了後の生き物調査結果(調査内容と抽出された生物)</b>	
調査日時:	令和7年10月17日(金) 13:30~15:30
天候・気温:	晴れ、気温22
調査対象:	魚類、甲殻類等
調査箇所:	地区内の用排水路
調査実施者:	新発田農村整備部
調査方法:	さで網タモ網による採捕調査
調査結果:	魚類(ドジョウ、カワムツ)、甲殻類(ヌカエビ、アメリカザリガニ)、両生類(アマガエル)
<b>12 特記事項</b>	
維持管理組織への引継事項 ・ワンドに堆積した土砂が還元状態となっており動植物が生息しづらい環境となっているため、維持管理時に泥層の深いところまで攪拌することが望ましい	
モニタリング組織への引継事項	
その他(補足事項、留意事項等があれば記入)	
環境情報協議会委員からの助言等	

## 添付資料

- ・環境配慮テーマ及び目指す地域環境の姿
- ・生き物調査位置図(事業実施前、事業完了後)
- ・計画平面図(事業範囲、環境配慮対策の実施箇所)
- ・環境配慮対策構造図・写真

添付資料は、生き物の生息場所等が特定されるおそれがあることから、非公開とする。

# 【資料2】

中山間地域総合整備事業

霧出地区

事後調査結果資料



## 【環境配慮地区概要表】(令和7年度事業完了後調査)(1/2)

地区番号:

1 基本情報			
事業名:	中山間地域総合整備事業	受益面積:	95.6ha
地区名:	霧出	総事業費:	415,000千円
所在地:	新潟県岩船郡関川村	施工年度:	平成22年～平成28年
2 主な工事内容等			
	工種	事業量	工種
	農業用排水施設整備	2路線 L=1,928m	
	ほ場整備	2団地 A=15.4ha	
3 農村環境計画・田園環境整備マスタープランにおける本地区の位置付け			
位置付け:	農業振興区域、環境配慮区域(関川村田園環境マスタープラン) 農地エリア、山地エリア(関川村農村環境計画)		
4 目指す地域環境の姿			
環境配慮テーマ:	自然と歴史が共生するふれあいの里 えちごせきかわ		
地域の将来像:	自然との調和に十分配慮しながら節度ある開発を行い、美しい、村づくりを目指す。		
地域の目標:	関川村を縦断する清流荒川及びその支流を、「恵みと豊かな母なる川」として流域の歴史と文化を生み地域の生活基盤を支えているという基本理念に基づき、親水機能・歴史と文化が感じられる整備の促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川・農業用排水路改修を目指す。		
5 事業実施前の生き物調査結果(調査内容と抽出された生物)			
調査日時:	平成19年10月及び11月		
天候・気温:	晴れ、気温18		
調査対象:	両生類、昆虫類 等		
調査箇所:	地区内用排水路等		
調査実施者:	委託業者、地元住民等		
調査方法:	タモ網等による採捕調査		
調査結果:	植物(マコモ等)、昆虫類(ルリタテハ、アオイトトンボ、ギンヤンマ、ミズカマキリ)、鳥類(キツツキ、カワセミ、フクロウ、カッコウ、キジ、トビ)、哺乳類(ニホンカモシカ、クマ、ニホンザル)、両生爬虫類(ニホンイモリ、ツチガエル)、魚貝類(アブラハヤ、シマドジョウ、カワナ)		
6 指標種と保全対策			
環境指標種:	アブラハヤ、ツチガエル		
(選定理由)	本水路は背後流域に山地を抱えているために年間を通じて水が涸れることはない。現況は柵渠水路でマコモ群落が生育している場所はアブラハヤの稚魚の生育環境を有している。定点観測によるモニタリングが可能である。		
環境指標種:	ニホンイモリ、ツチガエル		
(選定理由)	比較的水質の良好な用水や山からの湧水により、水涸れの発生が少ない水環境を有している。定点観測によるモニタリングが可能である。		
保全対策:			
(選定理由)			
環境保全対象工種:	ミティゲーション5原則:		
保全対策:	ほ場整備区域内の山際承水路緩流域の一部にワンド・脱出柵を設置		
(選定理由)	ほ場整備に伴う保全対象種の生息・生育環境への悪影響を緩和し、経済的で維持管理にも配慮した施設を選定		
環境保全対象工種:	排水路		
ミティゲーション5原則:	修正		
7 経済性(工事費のうち、環境配慮に係る事業費)			
ワンド・脱出柵:	工事費 21,000千円/1路線(うち環境配慮に係る事業費 300千円/1箇所)		
8 維持管理体制とモニタリング体制			
維持管理体制:	関川村土地改良区、地区住民等による管理		
管理内容:	関川村土地改良区、 <u>地域住民等により年1回江浚い</u> を実施。		
モニタリング体制:	関川村土地改良区、地区住民等が協力し行う。		
モニタリング内容:	工事後、年1回程度現地調査を実施する。		

上記内容は事業計画(当初)の概要である。変更があった場合は、朱書き訂正を行い下線を付けること。

## 【環境配慮地区概要表】(令和7年度事業完了後調査)(2/2)

地区番号: 2

9 維持管理組織からの聞き取り結果	
聞き取り年月日:	令和7年11月26日
維持管理体制:	関川村土地改良区、多面的機能支払活動組織(土沢保全会)
環境配慮対策の管理状況:	多面的機能支払活動組織による年1回(4月中旬)の江浚い
その他気づいた点:	
10 モニタリング組織からの聞き取り結果	
聞き取り年月日:	令和7年11月26日
モニタリング体制:	関川村土地改良区、多面的機能支払活動組織(土沢保全会)
モニタリング状況:	年1回、江浚いの際、目視による生き物の生息状況の確認
環境指標種の確認状況:	楯でアブラハヤ等の魚類の生息を確認
(その他生き物の生息状況)	
11 事業完了後の生き物調査結果(調査内容と抽出された生物)	
調査日時:	令和7年11月12日9:30~12:30
天候・気温:	晴れ 気温8 水温13
調査対象:	魚類、両生類、昆虫類等
調査箇所:	環境配慮施設1箇所およびその排水路上流1箇所、下流1箇所
調査実施者:	新潟県土地改良事業団体連合会
調査方法:	たも網、かご網、セルびん等による採捕調査
調査結果:	魚類: <input checked="" type="checkbox"/> アブラハヤ、タモロコ、オイカワ、ウグイ、カマツカ、ドジョウ、シマドジョウ、トウヨシノボリ類、カジカ 両生類: ニホンアマガエル 昆虫類: オニヤンマ、シオカラトンボ、ガガンボ科 その他: ヌカエビ、ミズムシ、アオグロハシリグモ、カワニナ、シマイシビル、タコウビル
<input type="checkbox"/> は環境指標種を示す	
12 特記事項	
<b>維持管理組織への引継事項</b> 土砂については、今後も砂礫の堆積が続くと予想される。どのくらいの期間でワンド工が埋まりきるかについては不明だが、維持管理のためには堆積した砂礫の泥上げが必要である。 草刈り等も併せて、非常に重労働であると思われるが継続維持管理が望まれる。 そのためには、維持管理については、地元、関係団体及び行政が一体となった維持管理体制やサポート体制の確立が必要である。 よって、多面的機能支払や、中山間直接支払などの事業による維持管理費用の創出が必要と考える。	
<b>モニタリング組織への引継事項</b> アカハライモリやツチガエルなどの両生類は季節によって生息環境を移動することが考えられる。 それぞれの生物がどのような目的で環境配慮施設を利用しているのかを調べるためにも、調査時期を調整、もしくは調査回数を増やす必要がある。	
<b>その他(補足事項、留意事項等があれば記入)</b> 外来種が移入すると、小魚やトンボのような水生昆虫、エビの仲間などがエサとなり、生態系が大きく変化してしまう。 今後も外来種が進入・定着しないように観察を続ける必要がある。	
環境情報協議会委員からの助言等	

## 添付資料

- ・環境配慮テーマ及び目指す地域環境の姿
- ・生き物調査位置図(事業実施前、事業完了後)
- ・計画平面図(事業範囲、環境配慮対策の実施箇所)
- ・環境配慮対策構造図・写真

添付資料は、生き物の生息場所等が特定されるおそれがあることから、非公開とする。

## 【資料3】

令和8年度 事後調査実施地区の地区選定について

【資料 3 - 1】

新潟県農業農村整備事業環境情報協議会 審議地区 ~ 新規地区数及び令和7年度まで完了地区数集計表 ~

新規採択時 審査地区数 A (A=A1+A2)	代償・修正・最小化				軽減・回避		
	代償・修正・ 最小化 地区数 A1	完了地区数		事後調査済み 地区数	軽減・回避 地区数 A2	完了地区数	
			うちR6、R7完了				うちR6、R7完了
509地区 (H20 ~ R7)	233	83	15	20	276	139	25

(1)代償・修正・最小化の対策を実施した地区(7地区)

番号	協議会	地域名	事業名	地区名	事業期間		環境保全 対象工種	ミゲーション 5原則	環境配慮対策	環境指標種				
					着工	完了								
1	H27	柏崎	経営体育成基盤整備事業	五日市・内 方	H29	R7	排水路	代償・修正	環境配慮型水路(カエル脱出工併用)の設置	ドジョウ	トノサマ ガエル	オオタニ シ		
2	H27	長岡	農地環境整備事業	上片貝	H29	R7	用水路 排水路	修正	水路脱出用スロープの設置	トノサマ ガエル	ニホンア カガエル			
3	H29	魚沼	経営体育成基盤整備事業	和田・横瀬	H30	R7	排水路	代償	環境配慮型水路の設置	ヤリタナ ゴ				
4	H29	佐渡	経営体育成基盤整備事業	開田六区	H30	R7	整地工	代償・修正	江の設置	ドジョウ	メダカ	マルタニ シ		
5	H29	新発田	経営体育成基盤整備事業	堀耕東	H30	R7	排水路	修正・回避	環境配慮水路(ワンド)の設置	ヤリタナ ゴ	R7年度 事後調査実施地区の「中ノ通」と同様の構造のため選定しない			
6	R1	柏崎	経営体育成基盤整備事業	和田	R2	R7	排水路	代償	保全池の設置	アカトンボ (ヤゴ)				
7	R1	糸魚川	農地環境整備事業	向田	R2	R7	排水路	代償・修正	環境配慮型水路の設置	ドジョウ	コオイム シ			

(2)軽減・回避の対策を実施した地区(18地区)

番号	協議会	地域名	事業名	地区名	事業期間		環境保全 対象工種	ミゲーション 5原則	環境配慮対策	環境指標種				
					着工	完了								
1	H26	糸魚川	中山間地域総合農地防災事業	釜沢	H27	R7	用水路	回避	土水路の保全	バイカモ				
2	H27	魚沼	経営体育成基盤整備事業	大和沢	H29	R7	ため池	軽減	既存ため池の保全、生き物の捕獲・移設	メダカ				
3	H27	柏崎	経営体育成基盤整備事業	長嶺	H29	R7	排水路	回避	現況柵排水路の現況利用	ドジョウ	オオタニ シ			
4	H28	魚沼	基幹水利施設ストックマネジメント事業	魚野川左岸	H30	R7	用水路(隧道)	軽減	工事中の配慮(濁水流出の軽減による周辺環境への配慮)	コウモリ				
5	H28	新潟	湛水防除事業	桑山川	H29	R7	排水機場	軽減	工事中の配慮(濁水流出の軽減による周辺環境への配慮)	スナヤツ メ	ヤリタナ ゴ	アカザ		
6	H28	村上	ため池等整備事業(用排水施設整備)	小和田	H29	R7	用水路	軽減	工事施工範囲の配慮(鳥類生息環境の配慮)	鳥類				
7	H29	柏崎	ため池等整備事業(地震対策・一般)	本村大池	H30	R7	ため池	軽減	工事中の配慮(生き物の移動)	ウキゴリ				
8	R1	上越	経営体育成基盤整備事業	東潟	R2	R7	排水路	回避	排水路の法線変更	ミズバ ショウ				
9	R1	新潟	ため池等整備事業(地震・豪雨対策型)	内ノ沢堤	R2	R7	ため池	軽減	工事中の配慮(濁水流出防止による周辺環境への配慮)	ヒメタニ シ				
10	R1	糸魚川	ため池等整備事業(地震・豪雨対策型)	越	R2	R7	ため池	軽減	工事中の配慮(堤体法面と接する周辺環境への配慮)	シダ類	ノギク	アキアカ ネ	コバネイ ナゴ	
11	R1	糸魚川	ため池等整備事業(地震・豪雨対策型)	真光寺	R2	R7	ため池	軽減	工事中の配慮(堤体法面と接する周辺環境への配慮)	イヌタデ	ヨシノボ リ	ヤマアカ ガエル	黄チャウ	
12	R1	新潟	ため池等整備事業(河川応急)	細越第2	R2	R7	頭首工	軽減	工事中の配慮(濁水流出防止による周辺環境への配慮)	アユ	イワナ			
13	R1	新潟	ため池等整備事業(土地改良施設整備)	細越第1	R2	R7	頭首工	軽減	工事中の配慮(濁水流出の軽減による周辺環境への配慮)	アユ				
14	R1	上越	湛水防除事業	新堀川	R2	R7	排水路	軽減	工事中の配慮(濁水流出の軽減による周辺環境への配慮)	フナ類				
15	R2	十日町	ため池等整備事業(地震・豪雨対策型)	寺ヶ崎	R3	R7	ため池	軽減	工事中の配慮(上流部に水たまりを作り生き物の一部回避を行なうことにより、生息箇所の確保)	オオタニ シ				
16	R2	柏崎	ため池等整備事業(地震・豪雨対策型)	柳沢池	R3	R7	ため池	軽減	堤体法面への現況表土の利用	トンボ類				
17	R2	上越	ため池等整備事業(地震・豪雨対策型)	下馬場池	R3	R7	ため池	軽減	工事中の配慮(濁水流出防止による周辺環境への配慮)	トンボ類				
18	R3	柏崎	ため池等整備事業(用排水施設整備)	立会堰	R4	R7	堰	軽減	濁水、土砂流出を極力抑えるため、工事規模を最小限とし、護岸に環境配慮ブロックを使用する。	カジカ				

(1)代償・修正・最小化の対策を実施した地区(8地区)

番号	協議会	地域名	地区名	事業名	事業期間		環境保全 対象工種	ミイゲ-ション 5原則	環境配慮対策	環境指標種			
					着工	完了				アキアカネ(ヤゴ)	カワニナ		
1	H26	上越	キジマ木島	経営体育成基盤整備事業	H27	R6	用水路	最小化	ブロック積護岸(®-スロウカット)	アキアカネ(ヤゴ)	カワニナ		
2	H26	長岡	オホネキウリュウブ大江中流部	かんがい排水事業	H27	R6	用水路	修正	階段工(脱出スロープの役割) 分水工(小緩流ポケットの役割)	トノサマガエル	ヤリタナゴ	メダカ	
3	H27	巻	フクダ 福島	経営体育成基盤整備事業	H28	R6	排水路	代償・修正	環境配慮型水路(魚巢柵)の設置	ドジョウ	タモロコ		
4	H27	長岡	ヤツデ 八手	中山間地域総合整備事業	H29	R6	排水路	代償	ワンド付フリーム 水路脱出用スロープの設置	ホトケドジョウ	トノサマガエル		
5	H28	新発田	オカトオリ 中ノ通	経営体育成基盤整備事業	R7年度 事後調査実施地区		R6	排水路	代償・修正	環境配慮型水路(魚巢柵・ワンド)の設置	ドジョウ	タモロコ	
6	H28	十日町	ウツタツクワ 浦田福島	農地環境整備事業	H30	R6	排水路	代償	ブロックマット2面張り護岸水路設置	オオイトトンボ	キトンボ	トノサマガエル	ツチガエル
7	H29	柏崎	ホンショウ 本奈	経営体育成基盤整備事業	H30	R6	排水路	代償・修正	脱出工の設置 残地による産卵場所確保	ニホンアカガエル			
8	R3	柏崎	シンイケダイ 新池第2	ため池等整備事業	R4	R6	ため池	修正	堤体法面に植生工を施し、ため池と周辺地をつなぐコリドー(緑の回廊)	トンボ類			

(2)軽減・回避の対策を実施した地区(7地区)

番号	協議会	地域名	地区名	事業名	事業期間		環境保全 対象工種	ミイゲ-ション 5原則	環境配慮対策	環境指標種			
					着工	完了				トノサマガエル	ドジョウ		
1	H28	新津	ベシヨ 別所	経営体育成基盤整備事業	H29	R6	排水路工	回避	脱出工・水場の設置 既存環境配慮水路の保存	トノサマガエル	ドジョウ		
2	H29	村上	オホネキウリュウブ 高根川沿岸	基幹水利施設ストックマネジメント事業	H30	R6	頭首工 水管橋	軽減	工事中の配慮(仮設足場を組み、ケレン、塗装工事の粉体・飛沫を防止)	サケ			
3	H29	三条	ソリダ 反田	ため池等整備事業	H30	R6	ため池	軽減	工事中の配慮(植物、生き物の移動)	ジュンサイ等水生植物類	ホトケドジョウ		
4	R1	十日町	アサガワ 赤沢	ため池等整備事業	R2	R6	ため池	軽減	工場中の配慮 (生き物の生息箇所の確保)	マルタニシ	スズエビ類		
5	R1	長岡	オホネキウリュウブ 大貝原	特定農業用管水路等特別対策事業	R2	R6	管水路	軽減	工事中の配慮 (濁水流出防止による周辺環境への配慮)	ゲンゴロウ			
6	R2	新潟	セリタ 芹田	ため池等整備事業	R3	R6	ため池	軽減	工事中の配慮(ため池内の水の確保)	ヒメタニシ			
7	R2	十日町	カミノシマ 上之島	ため池等整備事業	R3	R6	ため池	軽減	工事中の配慮(上流部に水たまりを作り生き物の一部回避を行なうことにより、生息箇所の確保)	カエル類			

1 調査対象地区の選定方針

下記の選定方針より、2地区 / 年の事後調査対象地区を選定。  
 生息環境の復元・安定の観点から、環境配慮施設の施工年度より概ね2年以上(できるだけ経過しているものが望ましい)経過している完了地区を選定する。  
 レッドデータブックにいがたに記載されている指標種を選定する。  
 効果的な工法に絞り込みを進めるため、同条件(構造、指標種等)により環境配慮を実施した地区を選定する。  
 農業農村整備事業で非常に多く利用され、施工性のよい2次製品(排水フレューム等)を活用した環境配慮水路を設置した地区を選定する。

2 令和8年度事後調査実施地区 地区選定整理表

(1)代償・修正・最小化の対策を実施した地区(うち選定方針に合致する5地区)

番号	協議会	地域名	事業名	地区名	事業期間		環境保全 対象工種	ミテゲーション 5原則	環境配慮対策 (対策工法)	環境指標種				環境配慮施設 施工状況		選定方針					備考		
					着工	完了								施工年度	経過年 数	検討 環境配慮施工年度 より概ね2カ年経過 (できるだけ経過)	検討 レッドデータブックにいがた 記載指標種	検討 設置条件(構造、指標種等)が同 じか	検討 施工性の良い2次製品(HF等) を活用しているか	評 価			
																						施工年度	経過年 数
1	H27	巻	経営体育成基盤整備事業	福島	H28	R6	排水路	代償、修正	環境配慮型水路(魚巢桁)の設置	ドジョウ	タモロコ				R1	6年	○	○		特注規格		×	規模大 HF-H2000*B2800 2/4
2	H27	長岡	中山間地総合整備事業	八手	H29	R6	排水路	代償	ワンド付フレューム、水路脱出用スロープの設置	ホトケドジョウ	トノサマガエル				R1	6年	○	○		汎用規格		○	HF-H600*B600(八手工区) HF-H1000*B1000(稲川工区) 4/4
3	H27	柏崎	経営体育成基盤整備事業	五日市・内方	H29	R7	排水路	代償、修正	環境配慮型水路(カエル脱出工併用)の設置	ドジョウ	トノサマガエル	オオタニシ			H29 - H30	7年	○	○		汎用規格		○	HF-H1000*B1200 4/4
4	H29	魚沼	経営体育成基盤整備事業(一般型)	和田・横瀬	H30	R7	排水路	代償	環境配慮型水路の設置	ヤリタナゴ					R2 - R3	4年	○	○		汎用規格			HF-H1000*B1300 3/4
5	R1	糸魚川	農地環境整備事業	向田	R2	R7	排水路	代償・修正	環境配慮型水路の設置	ドジョウ	コオイムシ				R4 - R5	2年		○		汎用規格			HF-H600*B800 3/4

○: 工法、指標種のどちらも同じ  
 ○: 工法、指標種のどちらかが同じ  
 ×: 類似工法であり、同指標種

過去の調査地区と、環境指標種が同じもの。(参考)過去に取り上げられた環境指標種の分類  
 新たな環境指標種を選定しているもの。 絶滅危惧 類(EN) マンジミ、タイコウチ  
 レッドデータブックにいがたに記載されている指標種 絶滅危惧 類(VU) トノサマガエル、ホトケドジョウ  
 準絶滅危惧(NT) マルタニシ、オオタニシ、クロサンショウウオ、アカハライモリ、ニホンアカガエル、モリアオガエル、キタノダカ、サシバ、コオイムシ、ヤリタナゴ、カジカガエル

(2)これまでの事後調査実施地区(参考)

番号	協議会	地域名	事業名	地区名	事業期間		環境保全 対象工種	ミゲーション 5原則	環境配慮対策 (対策工法)	環境指標種				備考
					着工	完了								
平成28年度 事後調査実施地区														
	H21	新潟	基幹水利施設ストック マネジメント事業	茨曾根	H22	H27	排水路	修正	魚巢柵の設置	ギンブナ	タモロコ	マルタニシ		
	H21	長岡	基幹水利施設ストック マネジメント事業	新保・北潟	H22	H25	排水路	修正	ワンド水槽の設置	メダカ	ギンブナ	カワニナ		
平成29年度 事後調査実施地区														
	H20	魚沼	中山間地域 総合整備事業	下倉	H21	H27	代替池	代償	代替池の設置	タイコウチ	オオタニシ	ヤゴ (トンボ類全般)		
	H23	十日町	経営体育成 基盤整備事業	外丸	H24	H28	排水路	修正	脱出柵やよどみ柵を設置	サシバ	カエル類	ドジョウ	オオコオイムシ	ゲンゴロウ類
	H22	糸魚川	中山間地域 総合整備事業	上根知	H23	H28	用水路	最小化 回避	土水路(石積護岸)整備、石垣 の保全	ゲンジボタル	トノサマガ エル	ヤマアカガ エル	ハコネサン ショウウオ	
平成30年度 事後調査実施地区														
	H20	南魚沼	中山間地域 総合整備事業	清津里山	H21	H29	ため池 排水路	最小化 回避	ため池(ピオトープ)の改修、石 積護岸の設置	マルタニシ	アカハラ イモリ	タイコウチ	メダカ	
	H21	村上	中山間地域 総合整備事業	霧出	H22	H28	排水路	修正	ワンド工、脱出柵の設置	ニホンイモリ	ツチガエル	アブラハヤ		
令和元年度 事後調査実施地区														
	H23	上越	ため池等整備事業	土尻	H24	H27	ため池	最小化	工事範囲を破堤危険区域に 限定。	ニホンアカ ガエル	モノサシ ンボ			
	H25	長岡	中山間地域 総合整備事業	川井	H26	H29	排水路	最小化	一部区間にブロックマットを 布設	アキアカネ	ゲンジボタル			
令和2年度 事後調査実施地区														
	H21	長岡	中山間地域 総合整備事業	東谷	H22	H30	用排水路	修正 代償	ワンドの設置 ぶら下がり施設の設置	ホトケドジョ ウ	トノサマガ エル	ゲンジボタ ル	モモジロコ ウモリ	ユビナガ ウモリ
	H24	上越	農地環境整備事業	坂口新田	H25	R1	排水路 保全管理区 域	軽減 代償	石積水路の設置 ピオトープの設置	イワナ	トノサマガ エル			
令和3年度 事後調査実施地区														
	H28	南魚沼	かんがい排水事業	天野沢	H29	R2	用水路	修正	小魚道付き落差工の設置 床止工での淵の創出	ニッコウイ ワナ				
	H22	十日町	農地環境整備事業	当間	H23	R2	排水路 ため池	最小化 回避	江、魚道の設置 ため池の現況保全	ホトケドジョ ウ	トノサマガ エル	モリアオガ エル	ゲンゴロウ	マルタニシ
令和4年度 事後調査実施地区														
	H21	柏崎	中山間地域総合整備 事業	西山内郷	H22	R3	用排水路	最小化	流速抑制水路の設置 (石積水路)	ヤリタナゴ	ドブガイ	マンジミ		
	H25	上越	農地環境整備事業	水野下牧	H26	R2	用水路	最小化	土水路の保全 (板柵工、捨石)	クロサン ショウウオ				
令和5年度 事後調査実施地区														
	H28	長岡	農地環境整備事業	山本	H29	R4	排水路	修正	脱出スロープ 練石積水路設置	トノサマガ エル	ゲンジボタ ル			
	H23	南魚沼	農地環境整備事業	新外谷	H24	H30	用水路	代償	ピオトープの設置	キタノメダ カ	トノサマガ エル			
令和6年度 事後調査実施地区														
	H24	十日町	中山間地域総合整備 事業	六箇	H25	R5	排水路	最小化 軽減	環境配慮型水槽の設置 現況利用ため池への避難	ホトケドジョ ウ	カワニナ			
	H28	十日町	中山間地域総合農地 防災事業	道城巻	H29	H31	魚道	修正	護床工の設置(護床ブロック、 巨石張り)	カジカ	カジカガ エル			
令和7年度 事後調査実施地区														
	H28	新発田	経営体育成基盤整備 事業	中ノ通	H29	R6	排水路	代償	環境配慮型水路(ワンド)の設 置	ドジョウ	タモロコ			
	H21	村上	中山間地域総合整備 事業	霧出	H22	H28	排水路	修正	ワンド工、脱出柵の設置	ニホンイモリ	ツチガエル	アブラハヤ		事後調査2回目

# 資料 3-3 補足資料①

## 経営体育成基盤整備事業

### 福島地区

福島地区 環境配慮型水路 (HF H2000×B2800)



# 資料 3-3 補足資料②

## 中山間地総合整備事業

### 八手地区

八手地区（市野坪工区）

環境配慮施設写真



八手地区（稲川工区）

環境配慮施設写真



# 資料 3 - 3 補足資料③

経営体育成基盤整備事業

五日市・内方地区

五日市・内方地区

環境配慮施設写真



## 資料 3-3 補足資料④

経営体育成基盤整備事業（一般型）

和田・横瀬地区



和田・横瀬地区

環境配慮施設写真



# 資料 3-3 補足資料⑤

## 農地環境整備事業

### 向田地区

環境配慮対策実施状況（環境配慮水路）  
農地環境整備事業 向田地区

